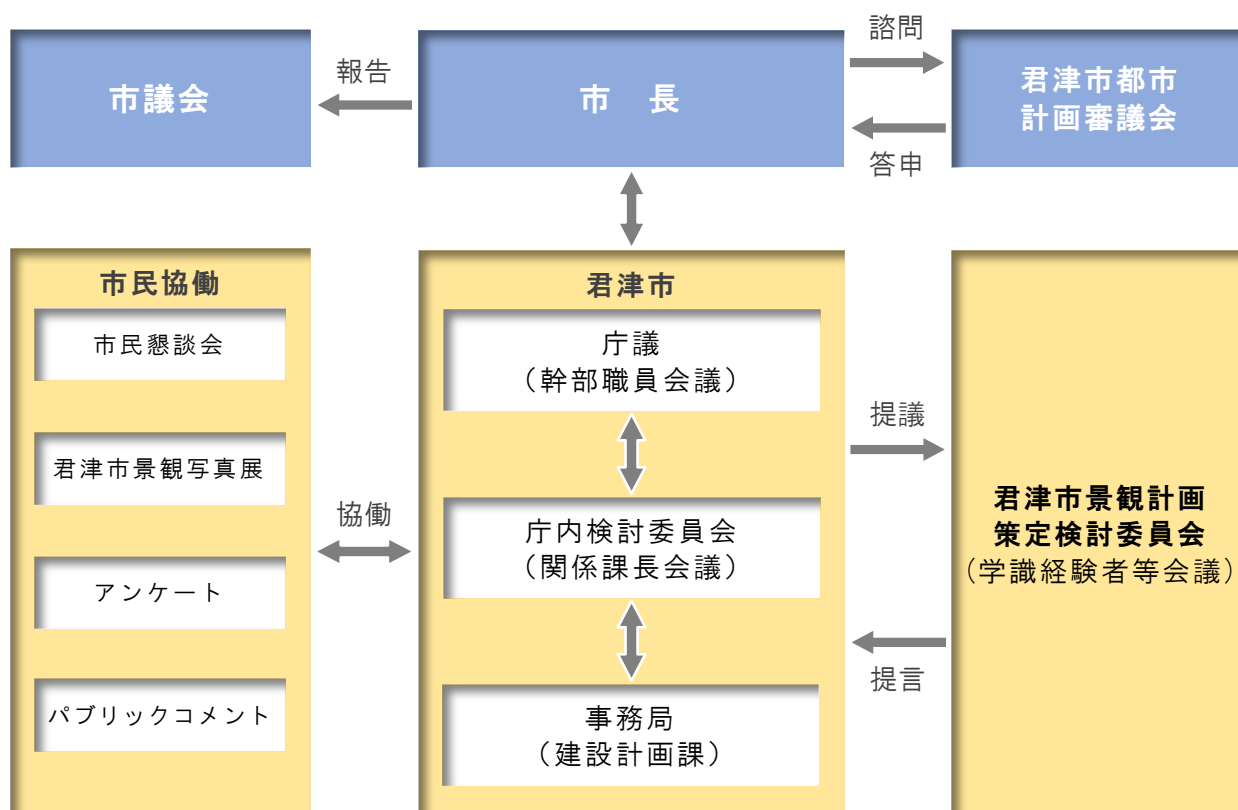


資 料 編



検討体制	72
検討経緯	73
市民懇談会	74
アンケート調査	75
君津市の色彩の現状（色彩現状調査）	77
用語解説	79

検討体制



■ 君津市景観計画策定検討委員会委員名簿

(敬称略)

選出区分	氏 名	所属・職名
学識経験者	北原 理雄(★)	千葉大学名誉教授
	杉山 朗子(☆)	株式会社日本カラーデザイン研究所
市長が認めた団体の構成員	関 寛之	株式会社ちばぎん総合研究所
	宮崎 功	千葉県建築士会君津支部
	柴田 幸一	〃
市民	永嶋 美地子	三舟山写真同好会
	坂本 好央	NPO法人久留里フィールドミュージアム
	志太 みのり	Kameyamaもりのくらし
市の職員	青柳 修司	君津市建設部長

※任期：平成29年8月1日～景観計画が策定される日

★委員長 ☆副委員長

■ 庁内検討委員会 関係課

企画政策課	農政課	都市整備課
まちづくり推進課	農林整備課	建築課
環境保全課	観光課	生涯学習文化課
経済振興課	道路建設課	

検討経緯

平成29年度

回数	会議名	開催日	議題
第1回	庁内検討委員会	6月29日	(1)景観計画策定の概要及びスケジュール案について
	景観計画策定検討委員会	8月9日	(1)委員長・副委員長の選出 (2)景観計画策定の概要及びスケジュール案について
第2回	庁内検討委員会	8月22日	(1)景観に関する現況・課題について (2)景観形成の目標・方針(案)について
	景観計画策定検討委員会	9月15日	(3)景観計画区域及び景観形成重点地区の候補(案)について
第3回	庁内検討委員会	10月25日	(1)報告事項 ア 市民懇談会の結果 イ 前回の委員会における意見への対応
	景観計画策定検討委員会	11月15日	(2)前回からの修正点について ア 景観形成の課題 イ 景観形成の方針 ウ 景観形成重点地区 (3)良好な景観形成のための行為の制限に関する事項
第4回	庁内検討委員会	12月25日	(1)景観形成重点地区について (2)景観形成基準・色彩基準について
	景観計画策定検討委員会	1月17日	(3)景観重要建造物・景観重要樹木について (4)屋外広告物に関する行為の制限について (5)景観重要公共施設について (6)景観計画(たたき台)について
第5回	庁内検討委員会	2月5日	(1)君津市景観計画(案)について (2)君津市景観条例(案)について
	景観計画策定検討委員会	2月13日	(3)今後のスケジュールについて

平成30年度

回数	会議名	開催日	議題
第6回	景観計画策定検討委員会	12月12日	(1)君津市景観計画(案)について (2)君津市景観計画運用ガイドライン(案)について

市民懇談会

君津市の景観の特性と課題などについて地区ごとに意見を伺うため、市民懇談会を開催しました。

1 概要

第1部 景観計画とは？（説明）

景観計画の策定について、策定の主旨やスケジュールなどの説明を行いました。

第2部 意見交換

3つのテーマで意見交換を行いました。

- ①身近な生活範囲で大切にしたい景観は？
- ②改善したい景観は？
- ③身近な景観を守り、改善するためにやるべきことは？



市民懇談会のチラシ

2 結果

平成29年度

地 区	君津地区		小糸・清和地区		小櫃・上総地区	
日 時	10月15日(日) 10時～11時30分		10月15日(日) 14時～15時30分		10月21日(土) 10時～11時30分	
場 所	生涯学習交流センター 会議室201		小糸公民館 講義室		上総地域交流センター 会議室1	
参加人数	8人(2グループ)		5人(1グループ)		9人(2グループ)	
①大切にしたい景観 ベスト3	1位	小糸川周辺	山並み	九十九谷	里山の風景	山並み
	2位	駅前周辺	小糸川	神野寺	森	久留里城、街
	3位	住宅地	整備されたまち並み	自然	公園	お祭り、イベント、食べ物
②改善したい景観 ベスト3	1位	砂取り場	山砂採取後の山肌	豊英大滝へのアプローチ	太陽光パネル	山砂採取場
	2位	看板、チラシ	小糸川	砂取り場、不法投棄	荒れた森林	久留里商店街(空き家、シャッター)
	3位	雑草やゴミが多い	街路樹、電柱、空き地	空き家、草刈り、掃除等	久留里のまち並み	害獣駆除
③一番効果があると思う取り組み	自分の家をきれいにする！		小糸川をセーヌ川に！	様々なジャンルのマップ(ルート)の作成	森林整備	一人一人の身近な所からの清掃意識⇒きみつ愛

■当日の様子



君津地区



小糸・清和地区



小櫃・上総地区

アンケート調査

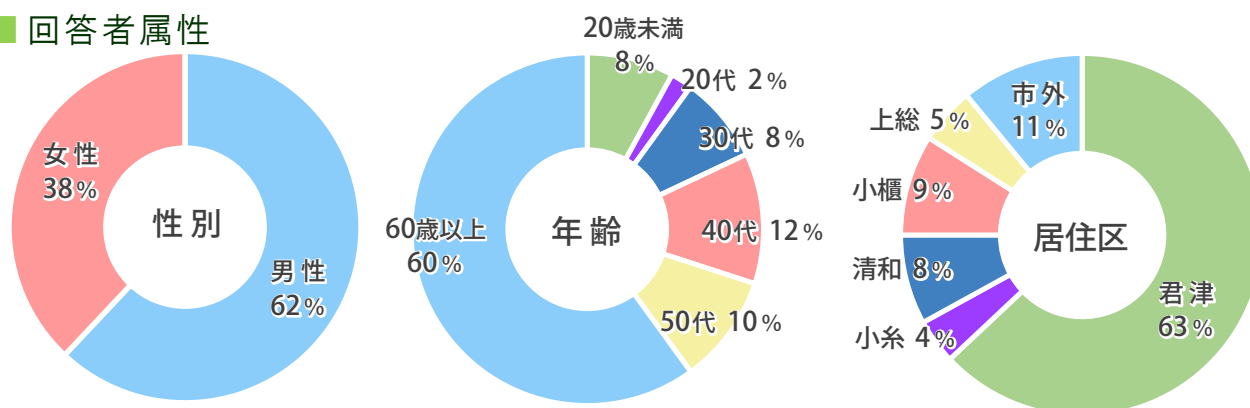
君津市の景観の特性と課題などについて意見を伺うため、アンケート調査を実施しました。

1 概要

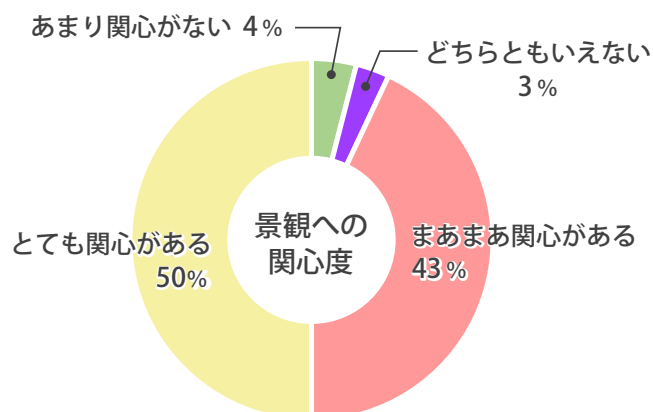
実施日・イベント名	平成28年 1月13日～2月22日 君津市景観写真展 平成28年10月 8日 君津市都市緑化祭 平成29年 1月22日 I Love きみつ フォト撮影会 平成29年 1月25日～3月 6日 君津市景観写真展
対象者	各イベントの来場者
回収数	200票
設問項目	属性(性別・年齢・居住区)／景観への関心度／ 景観づくりの重要度／好きな景観／嫌いな景観

2 結果

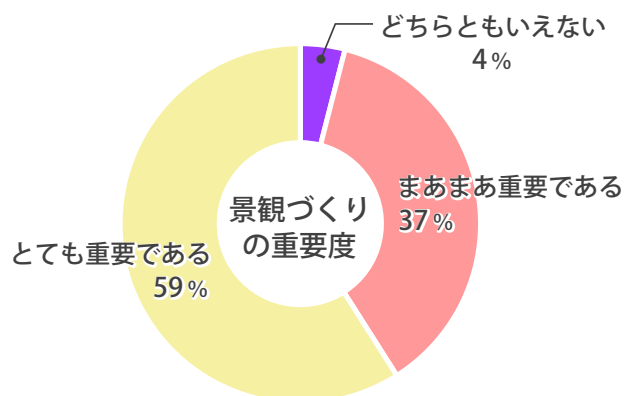
■ 回答者属性



■ 景観への関心度

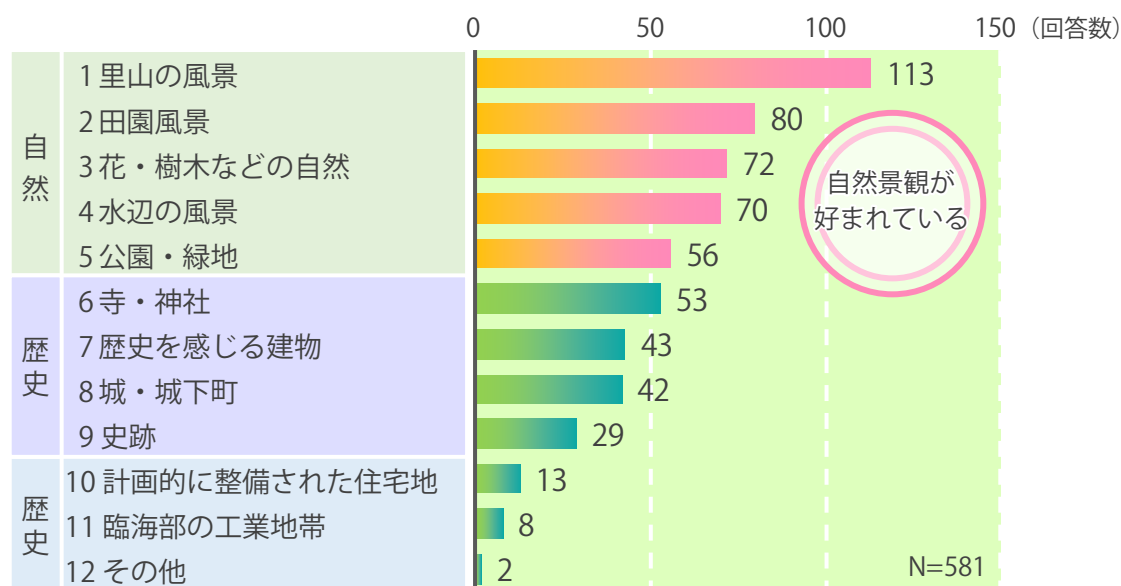


■ 景観づくりの重要度



好きな景観

四季折々の花や景色が楽しめる三舟山●山々と雲・霧がきれいな九十九谷の朝夕●心を癒してくれる久留里城(城下町)●船塚山から見る田園風景がすばらしい●ダム景色が美しい亀山●紅葉がきれいな笹川ダム付近 など



嫌いな景観

ごみが落ちていたり、草が刈られていない道路●沿道に乱雑に看板が設置された道路●人通りが少なく、活気がない君津駅前●人工的で無機質な工業地帯●流木等が多く、美観が良くない河川 など

その他の回答（自由回答より抜粋）

- みんなで協力して、ごみがあったらなるべく拾って君津市をきれいにする。
- 定期的に木の手入れがされており、君津は美しい町だと思う。
- 田園景観や富士山などの自然景観を損なう市街化は中止すべきだと思う。
- きっと君津市にはまだまだ素敵な景観があると思う。多くの人がこの大自然のすばらしさに目を向けること、住み良い君津市になることを願っている。
- 君津市景観写真展の作品をインターネットでも見るようにしてほしい。

君津市の色彩の現状（色彩現状調査）

1 調査概要

■ 調査の目的

君津市の景観を構成する色彩の現状を把握し、景観計画を策定する際に色彩基準の方向性を検討する基礎資料とすることを目的とします。

■ 調査方法

現地環境色調査

色票を用いた視感測定法（基準になる色票のスケールと測色部位を見比べ、その色彩値を判断する方法）により、現地の景観に含まれる色彩の分布を調査します。

写真色彩分析

君津写真展の作品集及び市既存資料による特産品写真などから色彩の傾向をとらえます。

現地環境色調査による色彩現状分析の対象

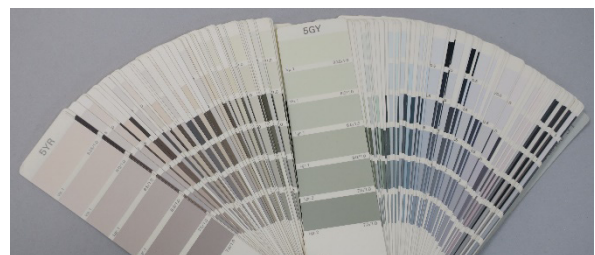
- 自然環境色：空、海、川などの自然や田畑・作物などは、地域それぞれの特徴を見出しやすいことから、景観の基本となる自然の色彩の把握を行います。
- 社会環境色：地域で使い慣れた色の特徴が出やすいことから、大型建造物だけでなく公共施設、住宅など、地域で計画され、使い続けられてきた色彩の把握を行います。
- 文化環境色：地域独特の色使いなどブランディングやコミュニケーションにも活用できる特徴を見出しやすいことから、歴史的建造物や歴史的土木遺産、看板・案内標識、伝統工芸品、特産物、お祭り・行事等地域で長く親しまれ、使われてきたものの色彩の把握を行います。

■ 調査に用いた道具

カラー色票一般型、低彩度型



43 色相 25 トーン
無彩色 18 段階の 1093 色の色票



彩度 2 以下の低彩度色票
22 色相 643 色

2 調査結果概要

■ 地形の特徴から

君津市は、上総丘陵地帯に含まれ、山地が入り組んだ地形をしており、小糸川、小櫃川を中心にしながら耕作地が切り開かれてきました。そのため、山を背景とした景観が広がっており、どこでも山や耕作地の豊かな緑が目に入ってくるのが特徴です。

■ 環境色の現状

環境色で中心となっているのは、自然環境色です。

自然環境色

自然環境色は、温暖な気候の影響が黄色によった黄緑色の濃淡が中心です。

社会環境色

山間、耕作付近に住宅が散在しているまち、という印象です。製鉄会社の社宅などで棟ごとに色を変えたサイン（案内板）などを用いていた影響か、幅広い色相やトーンを用いて、非常に多様であるのが君津らしいといえます。ただし、中明度中彩度～中明度低彩度への広がりが中心であり、おだやかにまとまっています。

文化環境色

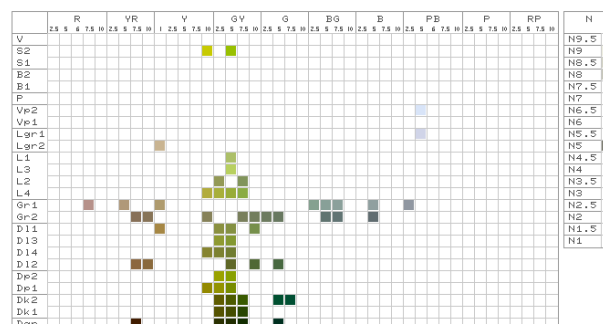
文化環境色のうち、看板の色については、一般的によく使われているPB（青紫）系の青い看板が少ないのが特徴です。漁船でも、関東の太平洋岸でよく使われているマリンプルーのような色はあまり使われていません。川や湖の色などにみられる色相の傾向に近いからです。川及びダム湖などの影響と考えられます。

久留里で見られる古い商店などでは、非常にまとまった低彩度の色などが見受けられます。

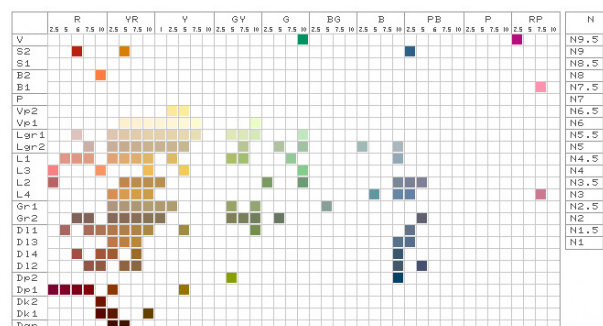


GEOTECH CO., LTD.

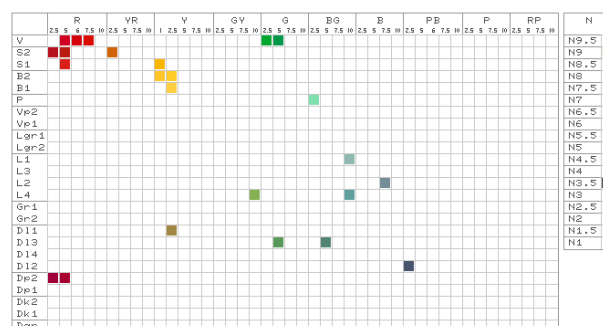
自然環境色全体



社会環境色建物全体



文化環境色 君津の看板



あ行

屋外広告物

お店や商品等の名称等が、看板、立看板、はり紙、はり札、広告塔、広告板、建物その他の工作物等に掲出され、または、表示されるもの。

屋外設備

給水塔、空調室外機、電気メーター、給水管、ダクト等の建築物等の屋外に設置される設備のこと。

か行

外構

建築物の外まわりの総称で、塀や生垣、門扉、車庫、庭、アプローチなどのこと。

開発行為

主として建築物の建築またはコンクリートプラントやゴルフコース等の特定工作物の建設の用に供する目的で行う土地の区画形質の変更のこと。

かずさアカデミアパーク 景観形成誘導指針

かずさアカデミアパーク構想の推進における企業等の施設整備に当たっての景観形成に係る指針のこと。

鹿野山九十九谷

鹿野山の九十九谷展望公園から一望できる高宕山などの上総丘陵が幾重にも連なる山並みの風景のこと。ちば眺望100景のひとつ。20世紀遺産のひとつ。

鹿野山道

鹿野山の山頂にある神野寺に至る信仰の道のこと。西参道、南参道、東参道などがあるが、最も利用が多かった北参道の登り口の両脇には桜並木が続いている。20世紀遺産のひとつ。

緩衝緑地

大気汚染、騒音、振動、悪臭等公害の防止や緩和、工業地帯等の災害の防止を図ることを目的として設けられる緑地であり、一般的に、公害や災害の発生が危惧される地域と一般市街地等とを分離するために設けられる緑地のこと。

君津市副次核整備 基本構想

内陸部の中枢を担う久留里地区を中心とする地域を副次核と位置づけた君津市全体の発展を図るための基本構想。

久留里城

久留里城は明治4年秋に廃城されるまで中世には里見氏、近世には黒田氏をはじめ数々の城主の居城となった。昭和53年に天守閣が復元され、翌年には久留里城資料館も完成した。別名「雨城」（うじょう）と呼ばれている。20世紀遺産のひとつ。

景観行政団体

景観計画の策定など、景観法に基づく景観行政を担う主体のこと。指定都市、中核市、都道府県が景観行政団体となるが、その他の市町村は、都道府県知事との協議により景観行政団体となることができる。

景観計画

景観行政団体が、景観法の手続きに従って定める「良好な景観の形成に関する計画」のこと。景観計画では「景観計画の区域」、「良好な景観の形成に関する方針」、「良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項」、「景観重要建造物又は景観重要樹木の指定の方針」を定め、必要に応じて「屋外広告物等に関する制限」、「景観重要公共施設の整備等に関する事項」などを定めることができる。

景観資源

歴史資産や公園等のみどり、川や湖、まち並み、歴史的建造物など地域の景観を特徴づける様々な資源のこと。

景観重要建造物

景観計画に定められた指定の方針に即して、景観行政団体の長が指定した良好な景観の形成のために重要な建造物のこと。指定されると、現状変更にあたり許可が必要となる。

景観重要公共施設

道路、河川、都市公園、海岸、港湾、漁港、自然公園等に係る公共施設（特定公共施設）のうち、景観計画の中で、良好な景観の形成のために重要なものとして定められたもののこと。

景観重要樹木

景観計画に定められた指定の方針に即して、景観行政団体の長が指定した良好な景観の形成のために重要な樹木のこと。指定されると、伐採などにあたり許可が必要となる。

景観法

平成16年に制定された日本で初めての景観に関する総合的な法律。景観に関する基本法的な部分と良好な景観の形成のための具体的な規制や支援を規定する部分で構成されている。

形態意匠

建築物や工作物の形やデザインのすること。

さ行

彩度

色の鮮やかさの度合い。原色に近いほど彩度が高く、色合いの少ないくすんだ色ほど彩度は低くなる。

市街化区域

都市計画区域の中で既に市街化している一団の区域や、今後、優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域のこと。市街化区域には、土地利用を適切に誘導するため、用途地域を指定する。

市街化調整区域

市街化を抑制すべき区域のこと。原則として用途地域を定められず、開発行為等は許可を受けなければ行うことができない。

色彩

色を感じさせる物体や光の特性、色を表現する表記法などの意味を有するが、一般には物や光を見たときに感じられる視知覚特性の一つとされている。色彩は、物が発したり、反射したりする光が、眼球から脳に伝えられて初めて生じる感覚であり、人間の内部に存在するものである。色相（hue）、明度（value）、彩度（chroma）を色彩の3属性と呼ぶ。

色相

他の色と区別する
拠り所となる色の
特質のこと。

視点場

ある景観を眺める
ために人間が立つ
場所のこと。

た行

太陽光発電設備

太陽光を電気に変換するための設備のこと。

千葉県屋外広告物条例

良好な景観の形成や風致の維持することなどを目的に、屋外広告物及び屋外広告業について必要な規制を設けた千葉県の条例。

ちば眺望100景

千葉県内の山並みや海岸など多様な景観を広く周知を図るため、平成18年9月に、県内の優れた眺望について「ちば眺望100景」として94箇所を選定したもの。

地形

地表の高低、起伏のありさま、川の形など土地の様子のこと。

地物

地上にある人為的な建物、橋、鉄道、道路等、ならびに自然の河川、植生等の総括的な名称。

東京湾アクアライン

神奈川県川崎市と千葉県木更津市を結ぶ、片側2車線・延長15.1kmの一般有料道路。首都圏の環状道路のひとつ。

都市計画区域

都市計画区域は、一体の都市として総合的に整備し、開発し、及び保全する必要がある区域として都道府県が指定する区域のこと。市または一定の基準に該当する町村の中心の市街地を含んで定められる。

土地区画整理事業

都市計画区域内の土地において、宅地の利用の増進や公共施設の整備改善を図るために行われる、土地の区画形質の変更及び公共施設の新設又は変更に関する事業。

土地の形質の変更

形の変更とは切土や盛土を行って土地の物理的な形状を変更することを指し、質の変更とは農地や山林等の宅地以外の土地を宅地として利用することを指す。

な行

20世紀遺産

20世紀になって市内で築造、発掘または発見された建物、道、橋、風景など21世紀に引き継ぎ、後世まで残していかなければならない遺産を君津市が指定したもの。

は行

平成の名水百選

地域の生活に溶け込んでいる清澄な水や水環境の中で、特に地域住民等による主体的かつ持続的な水環境の保全活動が行われている全国各地100箇所の湧水や河川を平成20年に環境省が選定したもの。

ほ場整備

生産性の向上とともに農村環境の整備、地域活性化などを目的とする農地基盤の整備。区画の規模・形状の変更、用排水、道路等の整備のほか農地の利用集積や非農用地の創出による土地利用の秩序化などを行う。

ま行

マンセル値

マンセル表色系で表現される色彩の値のことで、特定の1色をマンセル表色系で用いる色相（色合い）、明度（明るさ）、彩度（鮮やかさ）によって表したもの。

明度

色の明るさを示す度合い。明るさを0から10までの数値で示す。明るい色ほど数値が大きくなり、10に近くなる。明度が高いと白っぽい色になり、明度が低いと黒っぽい色になる。

や行

夜間照明

夜間、屋外において照らして明るくすること。

谷津田

大地に浅い樹状の谷が入り込む独特の地形を谷津といい、かつては海の入江であったが、今は谷津田と呼ばれその多くが水田となっている。

山砂採取場

埋立用の土砂やコンクリートなどの骨材となる砂利などを採掘する場所。

ら行

稜線

山の峰と峰を結んで続く線。尾根。

君津市景観計画

平成30年(2018年)12月発行

発行 君津市

〒299-1192 君津市久保2丁目13番1号

TEL:0439-56-1261

H P:<http://www.city.kimitsu.lg.jp/>

編集 建設部 建設計画課



君津市景観計画



君津市